

## IV 図書館活動

### 1. 県民への直接サービス

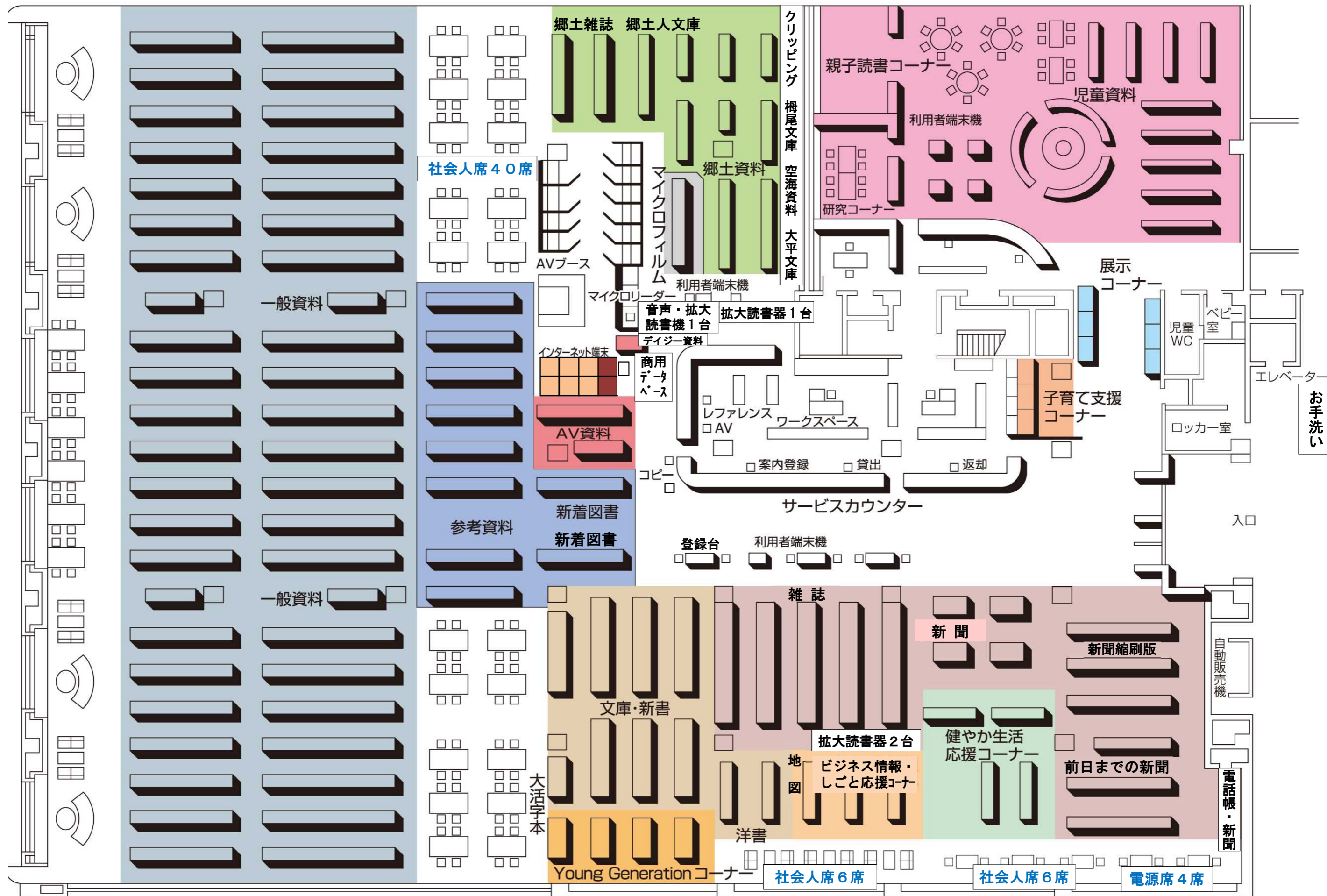
#### (1) 閲覧室

来館者が利用しやすいよう1階のワンフロアに設置し、一般資料・参考資料・郷土資料・AV資料などコーナーごとに資料を配架している。

また、10台の利用者端末機を使って、希望の資料の有無や配架場所が簡単に検索できるようにになっている。

面積	3,419㎡	マイクロフィルムリーダー	2台
開架能力	22万冊	インターネット端末	6台
席数	235席	商用データベース端末	2台
AVブース (映像)	10台		
(音声)	6台		

コーナー名	内 容
一般資料	総記・哲学・歴史・社会科学・自然科学・技術・産業・芸術・語学・文学の分野ごとに配架している。
参考資料	調査・研究などに便利な事典・辞典・年鑑・白書・名鑑・法規等を配架している。
郷土資料	香川の歴史や民俗、産業、方言など多彩なジャンルの郷土に関する資料のほか、香川県にゆかりのある人の著作を配架している。 また、「空海」に関する資料を集めた「空海コーナー」を設置している。 四国新聞の主要な記事を切り抜き、分野別に整理・配架している。
AV資料	CD、DVD、ビデオなどのAV資料を配架している。これらは、AVブースで視聴できる。
デジ資料	視覚に障害がある方などのために、音声デジ、マルチメディアデジを配架し、音声デジ再生機、音声・拡大読書機を設置している。
文庫・新書	文庫、新書を配架している。
大活字本	大きな活字で印刷された本を配架している。
Young Generation	10代（主に中学生・高校生）向きの図書（約7,000冊）を配架し、季節や時事にあったテーマでミニ展示を行っている。
健やか生活 応援	健康・医療・介護・生きがいに関する図書（約6,000冊）やパンフレットを配架している。また、利用者の関心の高い話題のテーマや時宜に応じたテーマでミニ展示を行っている。
子育て支援	子育てに役立つ図書（約2,900冊）や雑誌（14種）のほか、各種パンフレット・チラシ・企画展示図書（約200冊）を配架している。
洋書	英米の出版物を中心に各分野の洋書を配架している。
新聞・雑誌	国内外各地の情報源である新聞（34種）・雑誌（約800種）を配架している。
ビジネス情報 しごと応援	ビジネスや仕事に役立つ幅広い分野の図書（約1,900冊）と雑誌（47種）を配架している。また、ミニ展示の開催、専門機関の業務案内やセミナーなどのパンフレット・チラシの配布を行っている。
児童資料	絵本・童話・紙芝居など児童書を配架している。 また、児童文学に関する解説書・研究書などを集めた研究コーナーや親子読書コーナーがある。



(2) 貸出・返却

- ①貸出冊数 図書・雑誌 1人10冊以内 AV資料 1人3点以内  
②貸出期間 15日間  
③返却 借りた資料は返却カウンターへ返却する。閉館時は、図書館入口左側にある「図書返却ポスト」（CD等を除く）での返却のほか、県内の公共図書館や協力貸出を取扱う公民館等の窓口でも返却できる。（高松市内の図書館を除く。）

(3) レファレンスサービス（参考調査）

県民が資料や情報を求めるときは、図書館の資料と機能を活用して、それが得られるよう援助している。

質問は、口頭のほか、電話、文書、メールでも受け付けている。

寄せられたレファレンスの中から、調査研究の参考になるような事例をホームページで紹介している。また、国立国会図書館が全国の公共図書館、大学図書館、専門図書館等と協同で構築しているレファレンスデータベースに登録している。

(4) 相互貸借

県民が求める資料を当館が所蔵していないときは、国立国会図書館をはじめ、他の公共図書館等との相互貸借により求め、県民に提供している。

(5) 子どもへの読書支援

児童資料コーナーには、乳幼児から小学生向けの絵本や童話、紙芝居など、子どもの多様な興味に応えるため、幅広い分野の資料を配架し、読み聞かせボランティア団体によるおはなし会や紙芝居会などを通して、読書活動の普及に取り組んでいる。

また、子どもの読書活動推進に取り組む人を支援するために、児童文学に関する研究書、読み聞かせ等の技術が学べる資料を整備するとともに、その育成やスキルアップを目的とした講座を開催している。

読んだ本を記録するための「読書通帳」を作成し、平成27年7月から配布している。また、平成27年10月から、「読書通帳」への記入が最後まで達成した児童・生徒を対象に「しおり」を進呈している。

子どもの読書環境の整備や充実、学習活動の支援などのため、団体等への貸出しを行っている。

・児童資料団体貸出

5名以上で構成される子どもの読書活動推進を目的とするボランティア団体には30冊以内、利用する子どもが5名以上の文庫・学童保育及び保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校には100冊以内で1か月以内の貸出しを行う。

・学校支援文庫「木守文庫」（小学校版・中学校版）

小・中学校や特別支援学校に対し、学習活動や読書活動、学校生活を支援するため、テーマごとにセットした図書（1セット20冊又は40冊）を1か月以内で貸出しを行う。

・「香川の子どもたちに読んでほしい100冊」の貸出

香川県教育委員会が策定した「香川の子どもたちに読んでほしい100冊」の中から小学校低学年・中学年・高学年及び中学生ごとにまとめてセットにして1か月以内で貸し出す。

(6) 中・高校生等への読書支援

平成21年6月に「ヤングアダルトコーナー」を拡充し、「Young Generation コーナー」を開設した。10代（主に中・高校生）向きの図書約7,000冊を配架し、中・高校生の興味・関心のあるテーマのミニ展示を年10回程度行うなど、中・高校生が利用しやすい環境を整備している。

また、学校と連携した行事を開催するなど、読書活動の推進に取り組んでいる。

## (7) 県民の課題解決支援

### ①子育て支援事業

平成19年6月から「子育て支援コーナー」を設け、子育てに関する様々なジャンルの図書約2,900冊と雑誌14種を妊娠・出産・育児・しつけ・家庭教育など時系列順に分かりやすく分類して配架している。

また、子育てに役立つ各種パンフレット・イベントチラシなどをとりまとめて配布するほか、子育てに関する新聞記事の掲示や、子育てサークルの活動状況を写真などで紹介している。

さらに、年4回の企画展示や子育てに役立つ内容で「子育て支援講座」を開催している。

### ②健やか生活応援事業

平成26年12月から「健やか生活応援コーナー」を設け、健康・医療・介護や生きがいに関する資料約6,000冊を配架するとともに、パンフレット・啓発ポスターの掲示等や、話題のテーマや季節に合わせたミニ展示を年6回行っている。

また、関係機関と連携し、年に2回健康等に関する講座を開催している。

### ③ビジネス情報・しごと応援事業

平成29年12月から「ビジネス情報・しごと応援コーナー」を設け、ビジネスや仕事に役立つ幅広い分野の図書(約1,900冊)と雑誌(47種)を配架するとともに、専門機関の業務案内やセミナーなどのパンフレット・チラシを配布しているほか、ビジネスや仕事に役立つテーマのミニ展示を年6回行っている。

また、インターネット端末コーナーでは、専用端末(2台)により、最新の情報を手軽に調べることができる商用データベース(5種)が利用できる。

## (8) 障害者サービス

### ①資料等の整備

視覚に障害がある方などのために、大活字本の充実を図るほか、デージー資料(音声デージー、マルチメディアデージー)を整備するとともに、音声デージー再生機、拡大読書器、音声・拡大読書機を整備している。

### ②サピエ図書館の利用

(特非) 全国視覚障害者情報提供施設協会が運営するインターネット配信サービスのサピエ図書館に加入し、利用者の希望する音声デージーデータをダウンロードして提供している。

### ③郵送貸出

重度の心身障害及び病気療養中等により直接来館することが困難な方を対象に、郵送による資料の貸出を行っている。

### ④対面朗読

利用者からの要望により、香川県視覚障害者福祉センターで活動している音訳ボランティアの協力を得て、対面朗読を行っている。

## (9) ICT(情報通信技術)の活用

### ①ホームページ

蔵書検索のほか、貸出中の資料の予約、新着図書の案内、最新の行事案内など、図書館サービスと連動した多様な情報提供を行っている。

また、電子メールによるレファレンスやご意見の受付・回答、ボランティアが作成した香川県に関する県史、市町村史の目次情報などのテキストデータを公開する「地域の本棚」のコーナーなど、図書館と利用者を双方向で結ぶサービスも展開している。

さらに、県内公共図書館では、8市7町（令和3年4月1日現在）がホームページを開設しており、当館ホームページの横断検索により県立図書館と県内公共図書館及び大学図書館等の所蔵資料を一度に検索することができる。

#### ②デジタルライブラリー

江戸時代に作成された本県の古地図や古文書など、貴重な郷土資料をデジタル化し、平成26年12月から「四国遍路」、「空海」、「金比羅」、「その他讃岐（香川）の歴史」の4分野に分けてホームページで公開している。

#### ③利用者用インターネット端末

##### ・利用者用インターネット端末

情報提供サービスの一環として、利用者が行う調査、研究、教養等の用に資するため、インターネット端末4台を設置している。

また、この端末で、平成24年4月から国立国会図書館が配信する「歴史的音源」、平成26年4月からは「図書館向けデジタル化資料送信サービス」、令和3年3月からは「放送ライブラリー公開番組ストーリーミングサービス」を提供している。

##### ・利用者用商用データベース端末

専用端末(2台)により、新聞、判例、ビジネス情報等の情報を検索できる商用データベース(5種)を提供している。

#### ④Wi-Fi環境の整備

平成28年11月から利用者の利便性の向上を図るため、閲覧室内でWi-Fi(かがわWi-Fi)を無料で利用できる環境を整備している。

### (10) 職場体験学習・見学等の受入れ

#### ①職場体験学習

児童、生徒が図書館の業務を体験する職場体験やインターンシップの受入を行っている。

#### ②見学・視察

図書館の施設や業務内容を知ってもらうため、学校などの団体を対象とした、見学・視察の受入れを行っている。

### (11) 資料の譲渡

#### ①巡回文庫用図書の寄贈

図書の有効活用と読書活動の普及を図るため、県立学校や市町教育委員会、社会福祉施設等に呼びかけ、廃棄手続き済みの巡回文庫用図書を、希望する施設等に寄贈している。

#### ②不用新聞の譲渡

保存期間を経過した新聞の本紙について、年2回、希望者に譲渡している。

### (12) 展示・広報等

#### ①展示

閲覧室展示コーナーにおいて、企画展示や他機関と連携した展示を行うほか、各資料コーナーで県民の関心の高い話題やテーマ、時宜に応じたテーマで本の展示・紹介を行っている。

#### ②広報誌の発行（館内で配布するほか、ホームページに掲載）

- ・香川県立図書館報「図書館かがわ」 年4回発行
- ・児童資料コーナー広報誌「こどものひろば」 毎月1日発行
- ・子育て支援コーナー広報誌「楽しく子育て！～香川県立図書館子育て支援コーナー通信～」 毎月19日（かがわ育児の日）発行

## 2. 市町図書館等への支援

県立図書館と市町の図書館との役割分担、相互協力を進め、市町の図書館、公民館等を拠点とする地域読書普及活動の援助を行っている。

### (1) 巡回文庫

公立図書館が設置されていない町の公民館、学校等の公的機関及び30人以上で構成されている読書団体に対し、1町300冊以内を3か月間貸出する。

[巡回文庫配本団体 2団体]

- ・琴平町立榎井公民館
- ・直島町教育委員会

### (2) 協力貸出

市町の図書館のほか、公立図書館が設置されていない町の公民館等に対し、協力貸出(相互貸借)を行う。

### (3) 協力便

県立図書館と市町の図書館等の中で、週2回協力便を運行し、協力貸出資料などの搬送を行う。

## 3. 市町図書館等との連携

### (1) 市町図書館等との連携

#### ①横断検索システム

県立図書館と市町立図書館(8市7町30館)及び大学図書館等(4大学図書館等8館)の所蔵資料が一度に検索できる。

#### ②香川県図書館協会

県内の公共図書館の相互の連携を図り、図書館の運営に関する情報交換や調査研究等を行い、図書館の発展に寄与することを目的としている。

### (2) 香川大学図書館との連携

相互の連携による生涯学習支援及び図書館利用の利便性の向上を通して、両館利用者の学習、教育、研究活動への進展に寄与するため、平成22年3月に「香川大学図書館と香川県立図書館の相互協力に関する協定」を締結した。

図書館資料の相互貸借やレファレンスの協力、講演会・展示会の共催などを行っている。

## 4. 資料の整備充実

### (1) 収集

香川県立図書館資料収集方針及び香川県立図書館部門別資料収集基準により資料を収集し、蔵書の充実を図る。

### (2) 整理

一般資料は原則として、日本十進分類法(NDC)新訂10版を使用し、第4桁(一部は第5桁)まで分類している。

郷土資料は、NDC新訂6版に基づいて分類している。また、本県出身及び在住者の著作物等いわゆる郷土人文庫については、日本著者記号表とNDCを併用して分類している。

児童書は、NDC小中学校(児童書適用表)によって分類している。ただし、絵本の分類記号は『J』を使用している。

巡回文庫用図書は、一般図書・児童書とも50冊を1セットとして整備している。また、図書に関するデータは、セット番号別に整理している。

AV資料は、香川県立図書館AV資料分類表によって分類している。

(3) 新聞のクリッピング

昭和 50 年から地元紙「四国新聞」の本県や本県出身の人物・団体に関する記事、県内出版情報等を切り抜き、整理している。昭和 50 年から実施。現在、この作業はボランティアの協力を得て行っている。

## 5. 図書館評価

(1) 趣旨

平成 29 年度から図書館運営の改善とサービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について「図書館評価」を行っている。

(2) 評価の概要

① 評価項目

毎年度、基本方針・重点目標を定め、これに基づいて図書館評価指標及び数値目標を設定する。

② 評価方法等

自己評価（年度終了後、数値目標の達成状況により、自己評価）  
外部評価（年度終了後、香川県立図書館協議会による外部評価）  
利用者アンケート（年 1 回、来館者の満足度等を把握）

③ 評価の公表

評価の結果は、館内掲示及び図書館ホームページで公表する。



# 香川県立図書館資料収集方針

## 1 目的

この方針は、香川県立図書館として、幅広い県民の要求に応えるため、資料収集の基本的事項を定めることを目的とする。

## 2 基本方針

- (1) 県民の教養、調査研究、レクリエーション等に必要とされる資料を幅広く収集する。
- (2) 県内市町立図書館等を支援するために必要な資料を収集する。
- (3) 「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会 1954 年採択、1979 年改訂）の精神を尊重し、公平かつ偏りなく収集する。

## 3 収集する資料

- (1) 資料の種類は、図書、新聞、雑誌、AV 資料及びその他必要な資料とする。
- (2) 資料の範囲は、主として明治期以降に刊行されたものとする。
- (3) 資料は、次の各部門別に収集するものとする。なお、詳細については、香川県立図書館部門別資料収集基準に定める。
  - ① 一般資料部門  
各分野にわたり様々な観点から幅広く体系的に収集する。特に調査研究に必要な資料の収集に努める。
  - ② 郷土資料部門  
郷土の文化を承継し保存していくため、郷土資料を積極的に収集する。
  - ③ 児童資料部門  
子どもの読書習慣を培い、知識、創造力を豊かにするために必要な児童資料を収集する。
  - ④ AV 資料部門  
文字では伝達が困難な情報を提供するとともに、活字資料の機能を補完するために必要な AV 資料を収集する。また、障害のある人が利用できる資料を収集する。
  - ⑤ 巡回文庫部門  
公立図書館が設置されていない自治体の読書普及活動を援助するために必要な資料を収集する。
  - ⑥ 学校支援文庫  
学校における子どもの読書活動や学習活動、学校生活を支援するために必要な資料を収集する。

## 4 収集の方法

収集の方法は、購入、寄贈、再用、生産、区分変更、保管換等とする。

## 5 資料の選定

資料の選定は、原則として資料選定委員会で行う。なお、詳細については、香川県立図書館資料選定委員会規程に定める。

## 6 資料の保存と廃棄

- (1) 県の中核図書館として、資料の保存に努める。
- (2) 資料の廃棄は、資料保存の機能を考慮して慎重に行う。なお、詳細については、香川県立図書館資料廃棄要綱に定める。

### 附 則

- 1 この方針は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 香川県立図書館資料収集方針（昭和 60 年 8 月 5 日施行）は、廃止する。

### 附 則

この方針は、平成 26 年 11 月 27 日から施行する。

### 附 則

この方針は、平成 30 年 10 月 1 日から施行する。